

日本社会福祉学会北海道ブロック・北海道社会福祉学会 お知らせ 2014年度第1号

2014年10月7日

1 役員交代と今年度の執行体制について

会員の皆様におかれましては、日々ご健勝のことと存じます。さて昨年度に行われました日本社会福祉学会理事選挙の結果により、本年度より松本伊智朗（北海道大学）が北海道ブロック担当理事となりました。また同時に規約により、北海道社会福祉学会会長をかねることとなります。今年度の執行体制の構築が遅れ、会員の皆様への周知が遅延しましたことを、お詫び申し上げます。

北海道ブロック・北海道社会福祉学会の今年度の役員体制は以下です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長 松本伊智朗（北海道大学・北海道ブロック担当全国理事）

総務担当理事 藤原 里佐（北星学園大学）

研究担当理事 木下 武徳（北星学園大学）

横山登志子（札幌学院大学）

機関紙担当理事 大友 芳恵（北海道医療大学）

会計担当理事 松本真由美（日本医療大学）

幹事 田中耕一郎（北星学園大学）

村岡 章子（北翔養護学校）

研究活動委員会 木下 武徳（北星学園大学・研究担当理事）

横山登志子（札幌学院大学・研究担当理事）

新田 雅子（札幌学院大学）

伊藤 新一郎（北星学園大学）

編集委員会 大友 芳恵（北海道医療大学・機関紙担当理事）

安井 友康（教育大札幌校）

大澤 真平（札幌学院大学）

梶 晴美（北翔大学）

若狭重克（藤女子大学）

2 2014年度予定について

現時点で予定されている活動について、以下ご案内いたします。第1回研究会と総会・研究大会は日程が確定していますので、ぜひご予約ください。

| | |
|----------|-----------------------------|
| 11月5日(水) | 第1回研究会(18時30分 北星学園大学 詳細は別項) |
| 11月下旬ごろ | 「お知らせ」第2号 1月総会・研究大会の案内等 |
| 11月末日 | 「北海道社会福祉研究」第35号 投稿締め切り |
| 12月中旬 | 研究大会自由報告エントリー締め切り |
| 12月下旬 | 「お知らせ」第3号 総会・研究大会プログラム |
| 1月31日(土) | 総会・研究大会 |
| 2月 | 「お知らせ」第4号 3月研究会案内 |
| 3月 | 第2回研究会 |

3 第1回研究会のご案内

2014年度の研究会の第一回目は、北海道会員の研究成果について相互に意見交換する機会として以下の通り合評会を開催したいと思います。今回は、大友芳恵会員による著書を取りあげます。低所得高齢者の生活にみる尊厳軽視の問題を取りあげて調査研究された労作で、サブテーマの「死にゆきかた」というキーワードにも引き込まれる感があります。皆様、是非ご参加ください。なお、参加にあたっての事前申し込み等はありませんので、直接、会場にお越しください。

質問等ありましたら、socialwelfarehokkaido@gmail.comまでご連絡ください。

日時：2014年11月5日(水) 18:30~20:30 (終了後、懇親会)

場所：北星学園大学 第二研究棟地下 第一会議室

対象の著書：大友芳恵氏(北海道医療大学)『低所得高齢者の生活と尊厳軽視の実態：死にゆきかたをえらべない人びと』(法律文化社、2013年5月発行)

プログラム：

1. 大友芳恵氏による研究報告(40分程度)
2. コメンテーターによる質問や意見(10分×2人)
新田雅子氏(札幌学院大学)
伊藤新一郎氏(北星学園大学)
3. 参加者でディスカッション(50分程度)
4. 大友芳恵氏よりディスカッションを受けて(5分程度)

司会・運営：研究担当理事・横山登志子(札幌学院大学)、木下武徳(北星学園大学)

4 「北海道社会福祉研究」第34号の発行について

すでにご案内の方もおられると思いますが、同誌34号が2014年3月に発行されています。ご承知のように、現在は電子ジャーナル化されており、北海道社会福祉学会のホームページから閲覧可能です。34号は以下の3つの論考が掲載されています。

- 1 今西良輔「発達障害児を持つ父親の成長過程についての研究－青年期の子どもの父親の語りから」
- 2 遠藤可奈美「高齢者福祉施設における組織マネジメントと人材育成との関連性に関する研究－『おむつゼロ』を達成した施設における取り組みを通して」
- 3 高橋銀司「自立生活センターにおける重度身体障害者の自己決定に関する研究－調理介助からみえた介助者との『やりとり』を通じて」

5 『北海道社会福祉研究』第35号への投稿のお願い

北海道社会福祉学会では年1回『北海道社会福祉研究』を発刊しております。

論文、研究ノート、調査報告、実践報告、資料解題は、原則として本会会員による自由投稿とし、投稿の締切りは、毎年11月末日となっています。採用された投稿論文は電子化のうえCiniiへ登録され、その著作権は一般社団法人日本社会福祉学会に帰属するものとします。学会誌は2012年より機関誌のバックナンバーのホームページ公開をはじめ、現在では多くの方に利用されています。

みなさまの研究成果を、一人でも多くの人々に紹介し、社会に還元するよう努めております。みなさまの論文投稿をお待ちいたしております。

6 情報提供のお願い

学会活動に資する研究会やシンポなどの開催情報などがありましたら、事務局までお寄せください。アドレスは socialwelfarehokkaido@gmail.com です。会員にメール配信を行いたいと思います。ただし配信の適否は事務局で判断をさせていただきますので、配信を行わない場合があることをご了解ください。また配信には1～2週間の時間を要しますので、お含みおきください。

以上